

育児サポート4

初回購入特典
食事バランスガイド
(カラー版) 付き!

監修 ー小児科専門医 大正大学名誉教授ー 中村 敬
編集・発行 一般財団法人 女性労働協会

《定価》2,619円 (税込・送料無料)

*ファミリーサポートネットワーク参加団体 2,000円 (税込・送料無料)

本書の特徴

保育サービス(ファミリー・サポート・センターや子育てひろばなど)提供者を養成するための研修テキストです。専門家の指導のもと、新しい子育て状況に対応した保育者の心得、事故防止対策等の今求められている項目を拡充し、保育サービスを提供する方に必要な内容を掲載しています。

1 最新の講習会項目に対応するため、
新項目を追加し、内容を全面見直し!

2 今必要なテーマ内容を強化!
新項目
「第7章 心肺蘇生法」「第8章 リスクマネジメント」
「第13章 児童虐待と社会的養護」

3 1冊でファミリー・サポート・センター
提供会員向け講習カリキュラム※に完全対応!

育児サポート4

一般財団法人 女性労働協会

令和3年9月発行
B5版 419頁

※本書は、厚生労働省の提示する9項目24時間の講習カリキュラムに完全対応しています。病児預かりや安全管理に役立つ内容が具体的に紹介されており、実際の活動で困ったときに活用いただけます。(裏面参照)

このテキストを使って規定カリキュラム(9項目24時間)で講習を実施すると協会認定の修了証を授与いたします!

お問い合わせ: 一般財団法人 女性労働協会 TEL 03-3456-4410

購入申込書 (FAX: 03-3456-4420) 切り取らずにこのままお申込みください。		申込日 年 月 日	
センターまたは 団体名			ご担当者名
請求書 宛名	☐ 必要() ☐ 不要		
住所 (商品送付先)	〒()-()		
		電話番号	
購入数・金額 (税込) (あてはまる方に レ印を入れて冊数 と金額を記入)	☐ ファミリーサポートネットワーク参加団体	()冊 × 2,000 円 = ()円	
	☐ その他	()冊 × 2,619 円 = ()円	
修了証	必要 ・ 不要 ※必要な場合は講習会開催内容の事前審査が必要です。女性労働協会にお問い合わせください。		
備考 (受取希望日等)			

ファミリー・サポート・センター提供会員向け講習カリキュラムと育児サポート4の対応

講座項目	育児サポート4 該当箇所	ね ら い	講師例	講習 時間
保育の心	【第1章】 保育の心	1. 子育て支援の意義と役割を理解する 2. 育児支援者としての心構えと親子との関わり方を理解する 3. 育児支援者が活動中に留意すべきことを理解する	保育士 保健師	2
心の発達と その問題	【第2章】 心の発達と保育者の かかわり 【第3章】 障害のある子の預かり について	1. 子どもの発達段階に応じた心理・社会的発達、知的発達、対人関係の発達、自己・自我の発達などを理解する 2. 子どもの発達段階ごとの保育者の関わり方について理解する 1. 子どもの障害の種類や特徴について理解する 2. 障害をもつ子どもとの関わり方と預かるときに注意すべきことについて理解する	発達心理の 専門家	4
身体の発育と 病気	【第4章】 身体の発育と病気	1. 子どもの発達段階に応じた身体の発育状態（身長、体重、からだつきなど）について理解する 2. 子どもの発達段階に応じた臓器器官の形態的成熟や生理的機能（呼吸、消化吸収、排泄、睡眠など）、運動機能（移動や全身運動、手の運動や生活習慣など）の発達について理解する	小児科医 保健師	2
小児看護の 基礎知識	【第5章】 小児看護の基礎知識	1. 子どもの健康状態の観察方法と健康の評価について理解する 2. 注意すべき子どもの症状について理解する 3. 子どもがかかる疾患の主な症状と必要な看護方法について理解する	小児科医 保健師	4
安全・事故	【第6章】 事故による 子どもの傷害 【第7章】 心肺蘇生法 【第8章】 リスクマネジメント	1. 子どもによくある事故の特徴や原因について理解する 2. 活動中の事故を防止するための具体的な方法を理解する 3. 万が一事故が発生した場合の対応方法（応急処置、連絡体制など）について理解する 1. 乳幼児を対象とした救急救命が行えるように、その技術を身につける 1. 保育環境上起こりうる危険について学び、事故を未然に防ぐための予防策や安全確保の留意点について理解する	医師 保健師	2
子どもの世話	【第9章】 子どもの生活への ケアと援助	1. 子どもが快適に過ごすために必要なケアと環境づくり（睡眠、体温調節、排泄、清潔）について理解する	保育士 保健師	2
子どもの遊び	【第10章】 子どもの遊び	1. 子どもの年齢に応じた遊びの内容について理解する	保育士	2
子どもの栄養と 食生活	【第11章】 子どもの栄養と食生活	1. 子どもの発達段階に応じた摂食機能の発達や必要な栄養について理解する 2. 子どもの食物アレルギーなどについて理解する 3. 活動中に食事を与える際の注意事項（大きさ、温度、ベビーフードの取り扱いなど）について理解する	栄養・保育 学科栄養学 の専門家、 管理栄養士 等	3
保育サービスを 提供するために	【第12章】 子育て支援サービスを 提供するために 【第13章】 児童虐待と社会的養護	1. 子ども・子育てを取り巻く社会経済、地域、家庭の状況について理解する 2. 地域の子育て支援策について理解する 3. 実際に活動をおこなうための手順やルールについて理解する 1. 児童虐待（家庭における 配偶者等からの暴力（DV）を含む）とその影響（虐待を受けた子どもに見られる行動など）について理解する 2. 虐待を受けたと思われる子どもを発見した際の基本的 な対応の概要について理解する 3. 社会的養護を必要とする子どもや家庭の状況について理解する	保育行政担 当者、ファ ミリー・サ ポート・セ ンターアド バイザー、 講習会担当 者	3
合 計				24

※平成23年9月30日 厚生労働省雇用均等・児童家庭局職業家庭両立課長通知

（「基本事業」では推奨、「病児・緊急対応強化事業」では必須の取り扱いとなっています）